

阿蘇中央高等学校 農業食品科のご紹介

～湧水熱利用ヒートポンプを活用したイチゴ栽培～

佐伯 佳久 (さえき よしひさ) 九州電力株式会社 営業本部 技術企画グループ

省エネルギーや低炭素化の鍵として、エレクトロヒート技術への期待が高まりつつある。また、エレクトロヒートシステムの普及拡大に果敢に挑戦するプレーヤも増えてつつある。本連載は、エレクトロヒートシステムの普及拡大に向けて、アクティブに活躍するプレーヤを紹介する。さまざまなプレーヤが緊密に協力しあいながら、省エネルギーや低炭素化を実現できればと思う。

1. はじめに

熊本で電気を使ってイチゴ栽培の未来に挑戦する若者たちに会いに来てみた！

火の国、熊本。その熊本県北東部に位置し、標高1千m級の山々に囲まれた緑豊かな街、阿蘇市。

この世界最大級のカルデラでもある阿蘇の中央部に

熊本県立阿蘇中央高等学校阿蘇清峰キャンパスがあります。

この阿蘇清峰キャンパスは、農業食品科、グリーン環境科、社会福祉科の3科がある男女共学の高等学校です。

なかでも農業食品科では、授業の一環として、稲作、施設園芸、畜産などの実習授業にも取り組まれているのですが、今回、イチゴ栽培の暖房・加温に「湧水熱利用ヒートポンプ」を活用されているということで、取

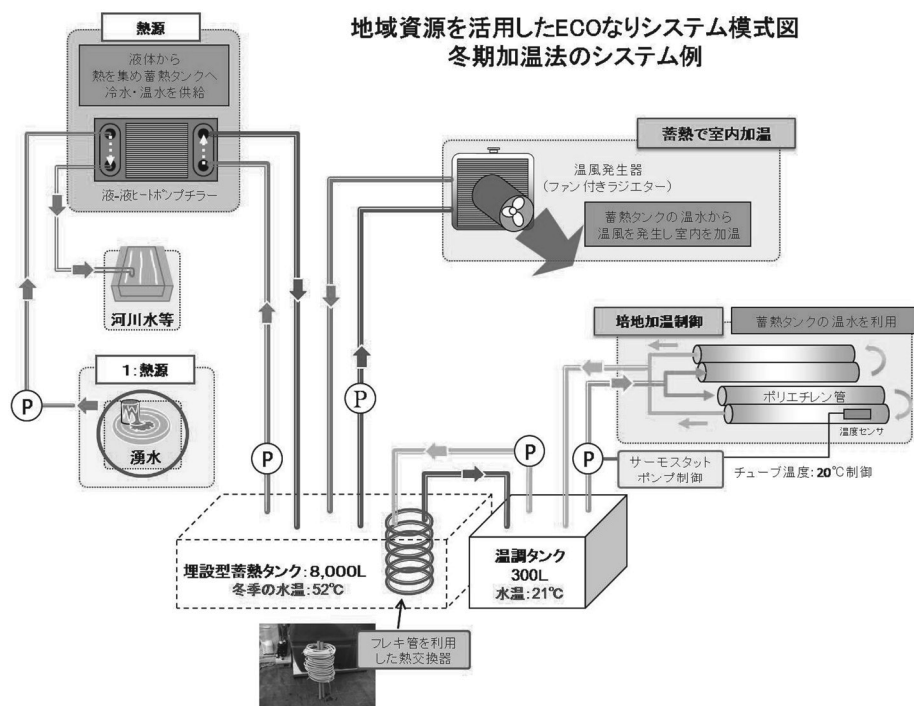


図1 湧水熱利用ヒートポンプシステム図